

10月29日(日)・大会2日目 9:30~10:50 (会場:F401) (80分)

●セッション【5】

テーマ:戦略と組織

「戦略論と組織論の融合の再検証」

◎上野恭裕(関西大学社会学部教授)

西村友幸(小樽商科大学大学院商学研究科教授)

北居明(甲南大学経営学部教授)

大森信(大手前大学経営学部教授)

加藤俊彦(一橋大学大学院経営管理研究科教授)

◎セッション・リーダー

[概要]

本セッションでは戦略論と組織論の融合について議論します。戦略論と組織論は経営学の中心的な研究領域として発展してきました。組織の在り方を無視して戦略は立てられず、一方で戦略によって組織の在り方が決まってきます。戦略論は組織論の成果を取り入れる必要があり、組織論の展開にも戦略論の知見は必要です。実際に両者はお互いに影響を与え合い、それぞれの研究成果を取り入れて発展を続けています。

また、二つの研究領域にまたがる研究も多く展開されています。情報的経営資源や組織文化、シナジーなどの共通概念を用いた研究も多く、両者の融合は進んでいるようにもみえます。それらの研究成果の本質とはどのようなものなのでしょうか。また、それらはどのように経営の実践に活かされているのでしょうか。今後、戦略論と組織論は、お互いにどのように影響を与えながら発展していくのでしょうか。経営戦略論、経営組織論の代表的な研究者により、シナジー、組織文化、実践の観点からご報告をいただいたのち、加藤先生よりコメントをいただき、今後の戦略論と組織論の発展の可能性を議論します。

[参加者へのメッセージ]

戦略論の研究者と組織論の研究者を明確に区別できるわけではありません。しかしながら、主な関心領域や、得意分野はあると思います。このセッションでは経営戦略論と経営組織論の研究者による報告をもとにして、両研究領域で研究に取り組んでおられる参加者の方々と積極的な議論を展開することにより、参加者の方々の研究の発展に貢献したいと考えています。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。